

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	きたみらい
-----	------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,858,500千円	
年 効 用		164,411千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		19年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0786	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,091,743千円	
費用便益比	= ÷	1.12	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	97,743	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
農業経営向上効果	54,080	草地及び農道の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
畜産環境の保全・向上	12,800	家畜排せつ物処理施設等の整備による畜産環境の改善及び有機質たい肥等の活用
維持管理費節減効果	-212	雑用水の整備に伴う維持管理費の増
計	164,411	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	沼川北部
-----	------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,081,484千円	
年 効 用		93,314千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		18年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0811	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,150,604千円	
費用便益比	= ÷	1.06	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	93,314	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計	93,314	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	宗谷中部
-----	------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,480,500千円	
年 効 用		137,472千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		16年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0880	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,562,182千円	
費用便益比	= ÷	1.05	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 畜産物生産効果	137,472	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計	137,472	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	大樹
-----	------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,049,888千円	
年 効 用		82,888千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		24年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0673	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,231,620千円	
費用便益比	= ÷	1.17	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 畜産物生産効果	82,888	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計	82,888	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	陸別
-----	------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,652,018千円	
年 効 用		167,629千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		19年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0781	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,146,338千円	
費用便益比	= ÷	1.29	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 畜産物生産効果	167,629	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計	167,629	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	茨城中西部
-----	------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,215,409千円	
年 効 用		174,034千円	
廃 用 損 失 額		0千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		26年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0631	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,758,066千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.24	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加 畜産物生産効果	174,034	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数及び販売頭数（生産乳量）の増加 対象家畜：肉用牛、乳牛
計	174,034	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	宮崎中央
-----	------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,575,650千円	
年 効 用		283,363千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		14年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0967	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,930,331千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.14	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 畜産物生産効果	283,363	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数及び販売頭数(生産乳量)の増加 対象家畜:肉用牛、乳用牛
計	283,363	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	北薩
-----	------------	-------	------	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,906,545千円	
年 効 用		200,902千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		26年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0651	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,086,052千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.62	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 畜産物生産効果	200,902	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数及び販売頭数(生産乳量)の増加 対象家畜:肉用牛、乳用牛
計	200,902	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	南薩第1
-----	------------	-------	------	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総事業費		1,025,000千円	
年効用		108,334千円	
廃用損失額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		32年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0574	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,887,352千円	
費用便益比	= ÷	1.84	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 畜産物生産効果	108,334	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数及び販売頭数(生産乳量)の増加 対象家畜:肉用牛、乳用牛
計	108,334	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	甌
-----	------------	-------	------	-----	---

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,355,448千円	
年 効 用		90,283千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0584	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,545,942千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.14	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 畜産物生産効果	90,283	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数及び販売頭数の増加 対象家畜：肉用牛
計	90,283	